

モニタリングシート

<b>施設名</b>	恩方老人憩の家
------------	---------

視点	評価項目	6月		9月		12月		期末評価	指定管理者 自己評価(コメント)	
		所管課評価	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	指定管理者 自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	施設常駐職員:月~水2名、木・金3名	B	常時2名以上の勤務体制を整えている。	B	常時2名以上の勤務体制を整えている。	B	常時2名以上の勤務体制を整えている。	B	勤務予定表に基づき、常時2名以上の勤務体制がとれていた。
		娯楽室、講習室、会議室の平均利用率【50%以上でA・50%未満40%以上でB・40%未満でC】	A	4月:53.8% 5月:43.8% 6月:59.1%	A	7月:52.5% 8月:43.8% 9月:55.0%	A	10月:58.9% 11月:54.4% 12月:40.6%	A	1月:45.4% 2月:50.7% 3月:43.8% 通年で約50.2%の利用率となった。
	定性的	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例:銀行口座】	B	固有の銀行口座有り。	B	固有の銀行口座有り。	B	固有の銀行口座有り。	B	固有の銀行口座で管理した。
		団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例:独立した会計帳簿】	B	独立した会計帳簿有り。	B	独立した会計帳簿有り。	B	独立した拠点区分で管理した。
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報・月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B	適正に徴収している。	B	適正に徴収している。	B	適正に徴収している。	B	経理規程等に基づき、適正に徴収していた。
		収支計画が適正であること	B	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例:事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	資金収支予算書に基づいて、適正に執行している。	B	資金収支予算書に基づいて、適正に執行している。	B	資金収支予算書に基づいて、適正に執行していた。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例:事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B	適切な人員配置をしている。	B	適切な人員配置をしている。	B	事業計画書に基づいて、適切な人員配置を行った。
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例:給与規程・資金台帳】	B	規定に基づき、適切に行われている。	B	規定に基づき、適切に行われている。	B	給与規定等に基づき、適切な人員配置を行った。		
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られるか	定量的	業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	一括委託は行われていない(一部委託有り)。	B	一括委託は行われていない(一部委託有り)。	B	一括委託は行われていない(一部委託有り)。	B	一括委託は行われていない(一部委託はあり)。
		開館日数243日(月~金、ただし祝日及び12月29日~1月3日を除く)	B	4月:20日 5月:20日 6月:22日	B	7月:20日 8月:22日 9月:20日	B	10月:21日 11月:20日 12月:20日	B	1月:19日 2月:19日 3月:20日 規定通り開館した。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例:条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B	規定に基づき、開館日数、開館時間共に守られた。	B	規定に基づき、開館日数、開館時間共に守られた。	B	規定通り開館し、開館時間も守られた。
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(該当の場合) 【確認資料例:減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B	減免利用なし。	B	減免利用なし。	B	減免利用はなかった。
施設のサービス向上	定性的	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例:ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	規程に基づき、現場と事務局で管理・保存している。	B	規程に基づき、現場と事務局で管理・保存している。	B	規程に基づき、現場と事務局で管理・保存している。	B	文書管理や文書編纂規定に基づき、適切に処理した。
		修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例:事業報告書・実地調査】	B	4月:女性用浴室内タイル修繕 5:6月:なし 他:日常業務として、施設内点検を行っている。	B	7~9月は修繕なし、施設の費保安全として、8月に職員による軽率車の修繕作業を実施した。	B	11月に給湯室排水溝部品交換修繕した他、職員による軽率車修繕作業及び清掃作業を10月に実施している。	B	施設保全のため、日常点検の徹底と、適切な修繕を行った。
		備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	B	備品台帳において、適切に管理している。	B	備品台帳において、適切に管理している。	B	備品台帳において、適切に管理している。	B	備品台帳において、適切に管理していた。
施設のサービス向上	定性的	個人利用延人数 月平均【500人以上でA・500人未満350人以上でB・350人未満でC】	A	4月:556人 5月:517人 6月:607人	A	7月:521人 8月:557人 9月:548人	A	10月:516人 11月:554人 12月:547人	A	1月:542人 2月:523人 3月:498人 通年で平均541人の個人利用があった。
		団体利用延人数 月平均【350人以上でA・350人未満250人以上でB・250人未満でC】	B	4月:298人 5月:280人 6月:342人	B	7月:270人 8月:231人 9月:264人	B	10月:277人 11月:254人 12月:248人	B	1月:258人 2月:236人 3月:232人 通年で平均266人の団体利用があった。

モニタリングシート

上、利用者の増加等を図る方策が図られている	定量的	平均参加率(参加人数/募集人数) [50%以上でA・50%未満40%以上でB・40%未満でC]	A	いきいき体操:77.5% 健康体操:67.5% あみもの:62.5% ウクレレ:71.9% 書道:87.5% 写仏:59.1% 平均参加率:71%	A	いきいき体操:73.8% 健康体操:68% あみもの:52% ウクレレ:64.6% 書道:93.8% 写仏:57.6% 平均参加率:67.8%	A	いきいき体操:71.3% 健康体操:63.2% あみもの:41.7% ウクレレ:62.5% 書道:100% 写仏:59.1% 平均参加率:67.5%	A	6月～12月の期間で5教室各10回開講し、平均参加率は通年で65%以上あった。	
		平均出席率(参加人数/応募人数) [50%以上でA・50%未満40%以上でB・40%未満でC]	A	いきいき体操:91.2% 健康体操:84.4% あみもの:89.3% ウクレレ:88.5% 書道:87.5% 写仏:92.9% 平均出席率:89%	A	いきいき体操:86.8% 健康体操:85% あみもの:74.3% ウクレレ:68.9% 書道:83.3% 写仏:90.5% 平均出席率:80.5%	A	いきいき体操:83.8% 健康体操:79.2% あみもの:59.5% ウクレレ:66.7% 書道:94.4% 写仏:92.9% 平均出席率:79.7%	A	平均出席率は通年で80%以上あった。	
		満足度調査結果による平均満足度[3.5点以上でA・3.5点未満2.5点以上でB・2.5点未満でC]							A	11月に実施し、平均満足度は約3.5点あった。	
れ額れ運的施て減、當な設いが経が費のる取費行理効からのわ、平	定量的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	利用者からの相談や苦情に適切に対応している。	B	利用者からの相談や苦情に適切に対応している。	B	利用者からの相談や苦情に適切に対応している。	B	相談や苦情受付に関しては、適切な対応をした。	
		開館日数1日あたりの経費予算額の[90%未満でA・90%以上110%未満でB・110%以上でC]							B	開館日数243日 予算(1日あたり):47,769円 決算(1日あたり):47,213円 対予算:約99%	
		利用者の交流を図る行事の開催[3回以上でA・2回でB・1回以下でC]								A	6月に七夕まつり、10月に文化祭、2月にひなまつりイベントを実施し、通年で3回開催した。
が計確事行画で装わにれ基具達てつづいてい目標が事業明	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか[ヒアリング等で確認]	B	使用済みの用紙の裏面利用を積極的に実施し、両面印刷や縮小印刷機能の活用もしている。	B	浴室や洗面所、トイレを使用する際には、必要以上に水を使用しないようボスター等で推進する。	B	八王子市環境マネジメントシステムに基づき、環境に配慮した運営を行った。	
		防災訓練実施[2回以上でA・1回でB・0回でC]								A	9月に来館者を変えた火災避難訓練を、11月に事務所内4施設合同の自衛消防・防災訓練を行った。
		個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか[確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書]	B	規定に基づき厳重に管理している。	B	規定に基づき厳重に管理している。	B	規定に基づき厳重に管理している。	B
図個人情保管理及び危機管理が	定性的	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか[確認資料例:保険証券]	B	傷害保険、動産保険、施設賠償責任保険に加入している(動産は社協として加入)。				B	傷害保険、動産保険、施設賠償責任保険に加入した。
		事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。[確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書]	B	緊急連絡網の作成と、緊急時の役割担当の確認を行った。	B	9月に利用者の方を変えた防火訓練を実施し、実際の緊急時の避難方法や断絶職員の後継等を再確認した。	B	11月に恩方事務所合同自衛消防訓練を実施した。消防士の指導の下、実地消防訓練や避難に関する意識を高め、緊急時の対応について共有した。	B	防災訓練や対策マニュアルを通して、緊急対応等危機管理体制を整えた。	

期末総合評価	B
所管課コメント	<p>恩方老人憩の家は、平成18年度より八王子市社会福祉協議会が指定管理者となり、地域の高齢者の憩の場として安定した運営をしている。利用人数については、講座利用は講座の増設で約30%増、団体利用がサークルの減少により約5%減、個人利用が約15%増となった(令和4年度比)。施設運営については、指定管理業務の一環としている生きがいつくりの教室のみならず、パソコン講座といった自主事業としての講座も実施しており、新規利用者の獲得に力を入れている。</p> <p>また、文化祭や七夕まつり等のイベント実施など、地域の方々に開かれた運営を行っており、魅力ある施設づくりに努めている。満足度調査では4.0点満点中3.5点と利用者の評価は高く、利用者の要望に応じて設備の更新を行うなど、要望に丁寧に対応している様子もうかがえる。施設管理については、適宜修繕を行い、今後見込まれる修繕等の検討も行うなど、適正に行っている。</p> <p>また、単独の火災避難訓練や併設施設合同の消防・防災訓練を行うなど、利用者が安全・安心に利用できる環境を整えている。今後も引き続き、地域の高齢者の憩の場として、安定した運営に努めていきたい。</p>